



相手校は、パスを回して1対1を仕掛けてくるプレーが強かったです。また、リバウンドも全員で飛び込んできて取っていたり、コミュニケーションを取った連携プレーが印象的でした。

本校は緊張感のないプレーが多く、全体的にふわっとしてしまっただという反省がありました。緊張感の無さがプレーに影響をしてターンオーバーも増えてしまい、やまもらしいプレーが出来なかったです。入りの部分が大事になってくるので、最初から緊張感を持ってコート内に入れると良いと思いました。コート内だけでなく、ベンチの盛り上がりも足りませんでした。ベンチの盛り上がりから流れを持ってこれる事も多いので、コート内だけでなくベンチの盛り上がりも大切にしていきたいと思います。また、イージーシュートを1発で決め切ることができない場面も何度かありました。セットオフェンスで攻めてディフェンスはハードワークをしようとチームで徹底している中で、ベクトルがバラバラなままプレーしているという反省もありました。チーム内でのコミュニケーションを大切に、ベクトルを合わせて全員が高い志を持って戦うことが出来れば、もっともっと強くなっていくと思います。

前半は流れが悪く沢山のスコアを許してしまいましたが、後半でディフェンスから流れを取り戻し、スコアにも繋げることができました。

また、次第にコミュニケーションが増え、速攻が上手く決まったり、パスを繋いだシンプルなプレーでのスコアが多くなりました。

今までの試合や練習試合で課題となっていたリバウンドも取れていたのが良かったです。

まだまだ強度を高くできる部分が沢山あると思うので、新人戦に向けて伸ばすところは伸ばし、改善出来るところは改善して行きたいです。また、ベスト8という目標に向かってチームの中でコミュニケーションを大切に、強い気持ちを持って練習していきます。